

会議録

会議の名称	令和5年度第1回西東京市中小企業等資金融資検討委員会
開催日時	令和5年5月19日（金） 午後6時00分から午後7時00分まで
開催場所	西東京商工会会議室
出席者	<p>清水 晋 委員長 高橋 泰彦 副委員長 池田 征義 委員 指田 泰弘 委員 村山 浩宜 委員（オンライン出席）</p> <p>[事務局] 後藤 幸男 産業振興課長 菅野 浩一郎 産業振興課商工係長 遠藤 集徳 産業振興課商工係主任 松本 浩己 産業振興課商工係主事</p>
議題	<p>(1) 経済状況及び動向等について (2) 今後の融資あっせん制度のあり方について</p>
会議資料の名称	<p>資料1 経済状況及び動向等資料 資料2 融資あっせん制度事業等の実績</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

(各委員と事務局の紹介、委員長と副委員長の互選)
(開会前に、人事異動等に伴う挨拶と、各委員の紹介、新委員長と新副委員長の互選を行う。)

1 開会

委員長：

開会前に報告する。本日、松岡委員は欠席である。定足数に達しているため、会議を開会する。

傍聴者の確認をする。

事務局：

いません。

委員長：

本日の会議資料について、事務局から確認をお願いする。

2 議題

(1) 経済状況及び動向等について

(2) 今後の融資制度のあり方について

事務局：(資料1、2に基づき説明)

【資料1：現在の経済状況や経済動向】の説明をする。「1：月例経済報告及び地域経済動向等の概況」について、国の経済動向として、ウィズコロナの下で、景気の持ち直しが期待されるが、物価高騰等の影響に十分注意する必要がある。

続いて、「2：東京都内の中小企業の景況」について、横ばいもしくは上向きの傾向がみられ、概ね全国的な動向と同様になっている。

続いて、「3：都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数」について、都内、多摩地域及び西東京市内における1月、2月、3月の倒産件数において、概ね前年同月増となっている。

【資料2：融資あっせん制度事業等の実績】の説明をする。「1：融資あっせん制度貸付状況（令和4年度）」では、前年度に比べ大きく異なっている部分として、創業資金の申込件数があげられる。前年から比較して申請件数が、2倍となっており創業資金の確保に関する需要が高いと感じる。事業資金及び借換資金に関しては、前年並みの実績となった。

続いて、「2：セーフティネット等申請状況」について、令和4年10月1日から令和5年3月31日までを基準として、申請状況を前年比較したが、概ね前年並みの申請件数で推移している。

委員長：

各委員から意見、質問を求める。

A委員：

工業部門において、原材料等の価格高騰の影響を受ける中で十分な価格転嫁ができておらず、利益が確保できていない状況がみられる。また、人出不足も依然として課題であり、賃上げについては前向きに検討している。商業部門では、新型コロナウイルスの5類移行により経済が活性化する見込みが出ているが、新しい生活様式の定着により、ゴールデンウィークも思ったほどではなく、依然として厳しい事業環境である。このような状況の中、既存の市の制度融資で十分補えており、特に変更は必要ないと考える。

B委員：

工業部門においては、原材料やエネルギー価格の高騰分を価格転嫁できている事業者は売上、利益ともに増加している。一方、価格転嫁ができていない事業者は厳しい状況である。専門家の紹介を通して徐々に良い方向に進んでおり、物価高騰の問題をカバーできる事業者も出てきている。商業部門では、客足はコロナ前に戻りつつあるが、人出不足と人件費の増加が課題となっている。市の制度融資については、現状で問題ないと考える。しかし、電気代等の高騰に対して何かしらの支援策があるとよいと思う。

C委員：

地域の賑わいは徐々に戻りつつあるが、コロナ前の状態に戻るには時間がかかると思われる。また、人手不足や物価高騰が依然として課題となっている。売上が戻ってきたとしても利益率は悪化しており、資金繰りが厳しい事業者が増えている。しかし、業種によっては、過去最高益を計上する事業者も出てきており、業種によって差が出てきている。

既存の市の制度融資については、一部見直しても良いと考える。見直しのポイントは、新たな資金の調達とキャッシュフローの改善の2点がある。一例として、事業資金の融資限度額を上げることや償還期間を延ばすことがあげられる。また、限度内であれば複数回の利用が可能であれば、事業者にとってメリットがある。

副委員長：

電気・ガス等の物価高騰を特に課題として捉えており、課題解決のために何が必要か現在検討中である。課題解決の手段の一つとして、融資を考えているため委員の皆様のご意見をいただきたい。

委員長：

経済動向については、ウィズコロナの中で事業活動が活発化してきているが、原材料の高騰が課題としてあり、厳しい状況の事業者が多くいる。また、売上回復とともに利益確保の支援が必要と考えている。現行の市の制度融資は充実しており、今の段階では変更は必要ないかと思うが、状況を見定めながら見直しの検討は必要だと考えている。

事務局：

本日欠席している松岡委員からのご意見を代読する。現在の経済動向について、新型コロナウイルスの5類への移行はポジティブな要素と考えられるが、物価高騰の影響のほうがやや強いのではないかと考えられる。今後の融資あっせん制度のあり方として、現時点では、先が読めない状況であるため、既存の制度を維持する方向で良いと考えられる。

3 その他

委員長：

その他について、各委員から意見、質問を求める。

副委員長：

現時点の市の状況として、国から臨時交付金が下りてきている中で、6月議会に向けて調整している。これは生活者への支援になるが、事業者への直接的な支援については、秋に向けて考えていく。融資なのか直接的な給付なのかどのような方法を取るのか本委員会のご意見を参考にさせていただきたい。7月ごろに第2回の開催を予定しているので、今後ともご協力をお願いしたい。

委員長：

事務局より意見を求める。

事務局：

本日の会議の会議録について、後日、委員にメールで送付し、内容をご確認いただいた後、必要に応じて修正し公開の手続きを取りたいが異議はないか。

(異議なし)

委員長：

以上をもって、令和5年度第1回中小企業等資金融資検討委員会を閉会する。